GJ2-004301～、GJ3-004601～、GJ6-004101～、GJ7-009101～、GP2-011301、GP3-007301～、GP6-007801～、GP7-020301～

2012年9月以降

ドアポケットに入れてお使いください

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
IMPREZA/XV を楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めて IMPREZA/XV に触れられるときにぜひご一読ください。

クイック ユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

運転席まわり

このクイックユーザーガイドは
基本的な操作説明を中心とした取扱説明書の抜粋版のため
取り扱い時の注意点や詳細な説明は省略しております。
必ず取扱説明書をご一読ください。
ドアポケットなど取り出しやすいところに入れて
お使いください。

★一部グレードのみに装着されている機能・装備ついては ✿マークがついています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

1 各部の開閉

A ドアの施錠・解錠

キーレスアクセスによる解錠

ブザーが**2回鳴り**、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が**2回点滅**します。

すべてのドアの解錠

アクセスキーを携帯し、ドアハンドルを握ると、全てのドア（リヤゲート含む）が解錠します。

アクセスキーを携帯

＋

トランクの解錠（4ドア）

アクセスキーを携帯し、トランクオープナーリクエストスイッチを押すとトランクが解錠します。

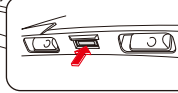
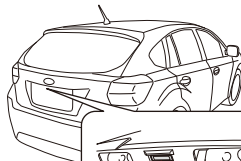
アクセスキーを携帯

＋

リヤゲートからの解錠（5 ドア）

アクセスキーを携帯し、リヤゲートオープナースイッチを押すと、全てのドア（リヤゲート含む）が解錠し、リヤゲートが開きます。

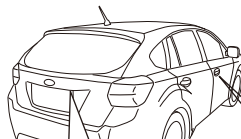
アクセスキーを携帯

＋

キーレスアクセスによる施錠

ブザーが**1 回鳴り**、同時に非常点滅灯（ハザードランプ）が**1 回点滅**します。

ドアおよびリヤゲートからの施錠

アクセスキーを携帯し、全てのドア（リヤゲート含む）を閉めてから、ドアハンドルのタッチセンサー付近に触れるか、リヤゲートのリクエストスイッチ（5 ドア）を押すと全てのドアの施錠ができます。

アクセスキーを携帯

＋

A ドアの施錠・解錠

電波式リモコンドアロックによるドアの施錠・解錠

アクセスキーまたはリモコンキーのボタンを押すと、電波により、車から離れたところから、全てのドア(リヤゲート含む)の施錠・解錠とトランクの解錠ができます。

アクセスキー

- :施錠
- :解錠
- :トランクの解錠(4ドア)
  約1.5秒以上長押し
- :リヤゲートの解錠(5ドア)

リモコンキー

5ドア　4ドア

- :施錠
- :解錠
- :トランクの解錠(4ドア)
  約1.5秒以上長押し

盗難警報装置　※初期設定では作動無しになっています。

キーレスエントリー(キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック)以外でドア(リヤゲート含む)またはトランクが開けられたとき、警報が作動し周囲に異常を知らせます。

警報を作動させてしまったときの解除方法

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装備車〉
・アクセスキーのいずれかのボタンを押す。
・アクセスキーを携帯し、プッシュエンジンスイッチを「ACC」にする。

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装備車以外〉
・リモコンキーのいずれかのボタンを押す。
・エンジンスイッチを「ON」にする。

イモビライザー(盗難防止用エンジン始動ロックシステム)

車両の盗難防止のため、登録されたキー以外ではエンジンの始動ができません。

※キーナンバープレートは、合い鍵を作るときに必要となります。車内以外の場所に大切に保管してください。

キーナンバープレート

B パワーウインドゥ

運転席ウインドゥスイッチ
開けるとき：スイッチを押す。
閉めるとき：スイッチを引き上げる。
強く操作すると自動で作動します。

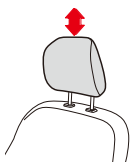
集中ドアロックスイッチ
全てのドア(リヤゲート含む)の施錠・解錠ができます。

ロックスイッチ
ロックスイッチを押すと助手席と後席のウインドゥは開閉できなくなります。

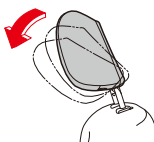
助手席、後席ウインドゥスイッチ
開けるとき：スイッチを押す。
閉めるとき：スイッチを引き上げる。

C シートの調整

フロントシート

ヘッドレストの高さ調整

上げるとき：そのまま引き上げる。
下げるとき：固定解除ボタンを押したまま押し下げる。
取り外すとき：固定解除ボタンを押したまま引き抜く。

固定解除ボタン

ヘッドレストの角度調整

ヘッドレストを矢印の方向へ少しずつ傾ける。

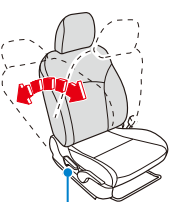
※元の位置に戻す場合は、ヘッドレストを一番前の位置まで傾けると、自動的に一番後ろの位置まで戻ります。

マニュアルシート

シートのドア側と下部のレバー操作で調整ができます。

前後位置の調整

レバーを完全に引き上げた状態でシートを前後に動かす。

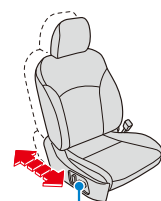
リクライニング調整

レバーを完全に引き上げた状態で背当て角度を調整する。

上下調整（運転席のみ）

レバーを引くたびに上がり、押すたびに下がる。

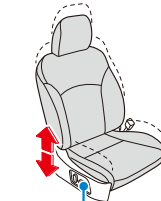
パワーシート

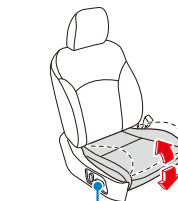
シートのドア側のスイッチ操作で調整ができます。

前後位置の調整

スイッチ全体を前後に動かす。

リクライニング調整

リクライニングスイッチを前後に動かす。（背当て角度調整）

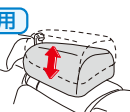
上下調整

スイッチの後側を上下に動かす。（シートの高さ調整）

座面前側の高さ調整

スイッチの前側を上下に動かす。

リヤシート

ヘッドレストの高さ調整

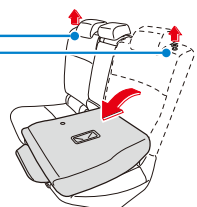
左右席用　中央席用

上げるとき：そのまま引き上げる。
下げるとき：固定解除ボタンを押したまま押し下げる。

固定解除ボタン

背当てを倒し、荷室を広げる

背当て上方にあるロックノブを引き上げながら背当てを倒す。

※左右のシートをそれぞれ倒すことができます。

ロックノブ

★一部グレードのみに装着されている機能・装備ついては マークがついています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

D シートヒーター

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のときスイッチを押すとシートが暖まります。作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。

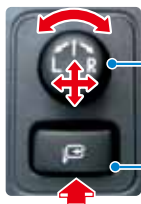
早く暖めたいとき：HIGH（暖まったら LOW にしてください。）
保温するとき：LOW（通常はこの位置で使用してください。）
停止するとき：スイッチを水平にします。

E チルト／テレスコピックステアリング

運転姿勢に合わせてハンドル位置を前後または上下に調整できます。

①チルト／テレスコピックレバーを押し下げます。
②ハンドル位置を合わせます。
③チルト／テレスコピックレバーを引き上げます。
④ハンドルが固定されたことを確かめてください。

F ドアミラーの調整

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のとき、ドアミラーの調整と格納ができます。

電動リモコンドアミラー
スイッチを「L」または「R」に回し調整するミラーを選びます。
スイッチを上下左右に動かして、後方を充分に確認できる位置に調整します。

電動格納式ドアミラー
スイッチ を押し込むと左右のミラーが同時に格納されます。
再度押すと元に戻ります。

G イルミネーションコントロールダイヤル

メーターなどの明るさを調整できます。上方向に回すと明るくなります。

〈ブライト（減光キャンセル）機能〉
ダイヤルを一番明るい段階から、さらに上方向（●印部分）に回すと、ライトを点灯しても表示部の明るさが減光しません。

H マニュアルヘッドランプレベラー

乗車人数、荷物の積載状態に応じて、ヘッドランプの照らす高さを調節します（数字が大きいほど下向き。通常はダイヤル0の位置で使用）。

I フロントワイパー／リヤワイパー／ヘッドランプウォッシャー

フロントワイパー

レバーを押し下げる、または押し上げるとワイパーが作動します。エンジンスイッチが「ON」のときに使用できます。

オートワイパー装備車

MIST	手動で作動
OFF	停止
AUTO	雨滴量により自動作動 リングを回して感度を調整します。 －方向：低感度／＋方向：高感度 ※カスタマイズによりAUTOを間欠作動に設定変更することができます。詳細は取扱説明書を参照のうえ、スバル販売店にご相談ください。
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

オートワイパー装備車以外

MIST	手動で作動
OFF	停止
INT	間欠作動 リングを回して作動間隔を調整します
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

リヤワイパー

スイッチを回すと作動します。

(上側)	ウォッシャー液が噴射しワイパーが作動
HI	連続作動
LO	間欠（低速）作動（車速に応じて変わります）
OFF	停止
(下側)	ウォッシャー液が噴射しワイパーが作動

ヘッドランプウォッシャー

ヘッドランプが点灯しているとき、1秒以上手前に引くと作動します。

J ライティングスイッチ／フォグランプスイッチ

ライティングスイッチ

レバー内のスイッチを回すと次のようにランプが点灯します。

(ヘッドランプマーク)	車幅灯、尾灯、番号灯、ヘッドランプが点灯
●	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
AUTO	センサー感知により自動点灯
OFF	消灯

※キーを抜く、またはプッシュエンジンスイッチで電源OFFにするとランプは消灯しますが、スイッチを一旦OFFにして再度ONするとランプを点灯させることができます。

ヘッドランプの上下を切り替える

レバーを前に押すと上向き、元に戻すと下向きになります。

パッシング（合図）のしかた

レバーを手前に引いている間ヘッドランプは上向きになります。

※車から離れるときは、バッテリー上がりを防ぐため、必ずライティングスイッチを「OFF」にしてください。

フォグランプスイッチ

ライト点灯時にスイッチを下記マークまで回すとフォグランプが点灯します。

(リヤフォグマーク)	リヤフォグランプが点灯
(フロントフォグマーク)	フロントフォグランプが点灯
OFF	消灯

K プッシュスタートシステム

電源の切り替え

作動表示灯

プッシュエンジンスイッチ

CVT 車はブレーキペダル、マニュアル車はクラッチペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、電源が OFF→ACC→ON→OFF の順に切り替わります。

作動表示灯の状態

OFF	**消灯**
ACC	**点灯(橙色)**
ON	**点灯(橙色)**(エンジン停止)
	消灯(エンジン回転中)

エンジンの始動

CVT 車

①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
②駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
③セレクトレバーがPであることを確認します。
④プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が **(緑色)** になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます。
⑤ブレーキペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。

マニュアル車

①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
②駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
③チェンジレバーがニュートラルであることを確認します。
④ブレーキペダルを踏みます。
⑤プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が **(緑色)** になるまで、クラッチペダルを確実に踏み込みます。
⑥クラッチペダルを確実に踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。

※強い電波ノイズや、アクセスキーの電池残量不足でアクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動

①セレクトレバーがP(CVT車)またはチェンジレバーがニュートラル(マニュアル車)であることを確認し、ブレーキペダル(CVT車)またはブレーキペダルとクラッチペダル(マニュアル車)を踏みます。
②アクセスキーのボタン側を手前に向けて、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに触れるまで近づけます。ブザー音(ピッ)が鳴り、電源が入ります。
③ブレーキペダル(CVT車)またはブレーキペダルとクラッチペダル(マニュアル車)を踏んだままプッシュエンジンスイッチを押してください。

エンジンの停止

車両を完全に停止させ、プッシュエンジンスイッチを押してください。エンジンが停止し、電源が「OFF」になります。
ただし、CVT 車はセレクトレバーをPに入れてからエンジンスイッチを押さないと電源が「OFF」になりません。

※セレクトレバーが P 以外でもエンジンを停止することができますが、電源は「ACC」になります。
車両から離れるときはPでエンジンを停止し、電源が「OFF」になっていることを確認してください。
※走行中、プッシュエンジンスイッチを約3秒以上押し続ける、またはすばやく3回以上連続で押すとエンジンが停止します。緊急時以外は本操作をしないでください。

プッシュスタート装備車以外でエンジンスイッチからキーを抜くときは、ACC の位置からキーを押し込みながら LOCK に回してください。

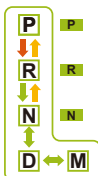
ACCでキーを押し込み、LOCKに回します

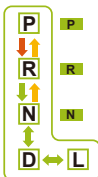
L チェンジレバー(マニュアル車)／セレクトレバー(CVT車)

チェンジレバー(マニュアル車)

変速するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで確実に操作してください。

セレクトレバー(CVT車)

マニュアルモード装備車

L レンジ装備車

P：**パーキング**(駐車およびエンジン始動位置)
R：**リバース**(後退位置)
N：**ニュートラル**(中立位置)
D：**ドライブ**(通常走行位置)
M：**マニュアル**(マニュアルモード走行位置)
L：**L レンジ**(降坂路走行位置)

マニュアルモード ※詳細は取扱説明書3章をご覧ください。
セレクトレバーをDからMに動かすとマニュアルモードになります。パドルシフトで変速できます。

L レンジ ※詳細は取扱説明書3章をご覧ください。
セレクトレバーをDからLに動かすと L レンジになります。下り坂やカーブの手前など、エンジンブレーキが必要なときに使用します。

➡ ブレーキペダルを踏まないと操作できません。ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押して操作します。
➡ ボタンを押して操作します。
➡ ボタンを押さずに操作します。

M パドルシフト(CVT車)

マニュアルモードで変速するときに使用します。

1段下のギヤに変速
左側(–)のレバーを手前に引きます。

1段上のギヤに変速
右側(+)のレバーを手前に引きます。

D レンジでの操作
走行中、Dのままパドルシフトを操作すると一時的にマニュアルモードに切り替わります。しばらく走行した後、通常のD走行に復帰します。

N VDC OFFスイッチ

VDC (ビークルダイナミクスコントロール) システムを一時的に「OFF」にしたい場合に押します。
作動可能状態に復帰させるときには、もう一度 VDC OFF スイッチを押します。
※通常は「ON」でご使用ください。「OFF」にする場合については取扱説明書をご覧ください。

O クルーズコントロール

※EyeSight ver.2 の詳細は別冊の「インプレッサ / XV EyeSight ver.2 取扱説明書」をお読みください。

アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つことができる機能です。

作動するとき： (クルーズ)スイッチを押す。

停止するとき： スイッチをもう一度押します。

(クルーズ)スイッチ

●速度をセットするとき

希望する車速のときに SET/ ースイッチを押します。

●一時解除

ブレーキペダルを踏む、または CANCEL スイッチを押します。

●一時解除の復帰

RES/+スイッチを押します。

●セット速度の調整

加速するには RES/+ スイッチを、減速するには SET/ ー スイッチを希望速度まで押し続けます。

P アイドリングストップ

※詳細は取扱説明書 3 章をご覧ください。

アイドリングストップとは、信号待ちや渋滞などで停車すると、燃費向上やアイドリング騒音低減のため自動でエンジンを停止・再始動させるシステムです。

アイドリングストップ､エンジンの再始動

走行中

走行中にアイドリングストップが作動可能な条件を満たすと、アイドリングストップ表示灯が点灯します。

点灯

アイドリングストップ表示灯

アイドリングストップ作動

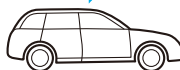
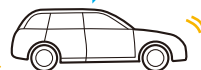
D のままブレーキペダルを踏んで停車すると、エンジンが自動的に停止します。

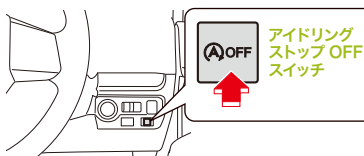
点灯

エンジン再始動

D のままブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動します。アイドリングストップ表示灯は消灯します。

消灯

走行中

停車 アイドリングストップ

エンジン始動

アイドリングストップの作動を OFF にする

アイドリングストップ OFF スイッチを押します。

OFF にすると、メーター内のアイドリングストップ OFF 表示灯が点灯します。

アイドリングストップ OFF 表示灯

表示灯の位置は p.14 を参照

※アイドリングストップ中の操作、アイドリングストップが作動可能な条件、エンジン再始動条件の詳細は、取扱説明書を参照してください。

Q [S]モードスイッチ(CVT車)

セレクトレバーが D のとき、[S]モードスイッチを押すと[S]モードになり、メーター内の[S]モード表示灯が点灯し、同時に Info-ECO 表示灯が消灯します。

※[S]モードの詳細は取扱説明書をご覧ください。

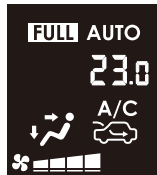
R エアコンの操作

フルオートエアコン

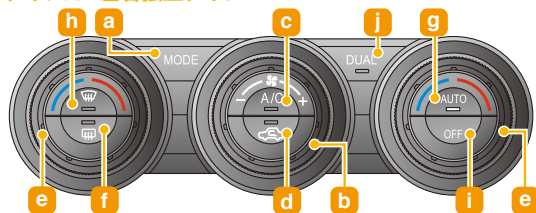
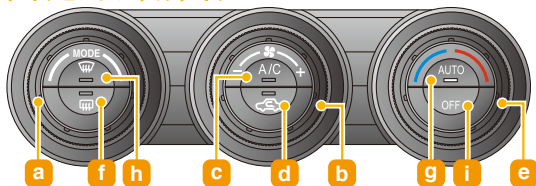
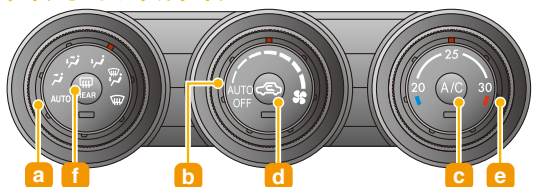
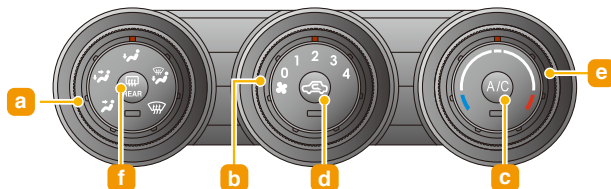
マルチファンクションディスプレイ装備車

フルオートで使うには、AUTO スイッチを押して温度調整ダイヤルで希望温度を設定します。マルチファンクションディスプレイ横の表示部に“FULL AUTO”と表示されます。
タイプ A は、DUAL スイッチ内の表示灯が点灯しているとき、マルチファンクションディスプレイ横の表示部に運転席側、助手席側それぞれの設定温度が表示されます。

表示部

タイプA：左右独立タイプ

タイプB：シングルタイプ

マルチファンクションディスプレイ装備車以外

フルオートで使うには、温度調整ダイヤルで希望温度を設定し、吹き出し切り替えダイヤルと風量調整（ファン）ダイヤルを「AUTO」位置にします。

タイプC：シングルタイプ

マニュアルエアコン

a モード（吹き出し口）切り替えスイッチ／ダイヤル
吹き出し口を切り替えます。

b 風量調整（ファン）ダイヤル
風量を調整します。

c A/C スイッチ
冷房・除湿機能が作動し、スイッチ内の表示灯が点灯します。

d 内外気切り替えスイッチ
内気循環と外気導入を切り替えます。内気循環のとき表示灯が点灯します。
※通常は外気導入をお使いください。

e 温度調整ダイヤル
室内温度を調整します。
タイプ A では、DUAL 時に運転席助手席別々に温度を設定できます。

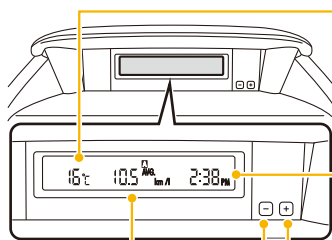
f リヤウインドゥデフォッガースイッチ
リヤウインドゥの曇りを取ります。フロントワイパーデアイサーおよびヒーテッドドアミラー装備車は同時に作動します。

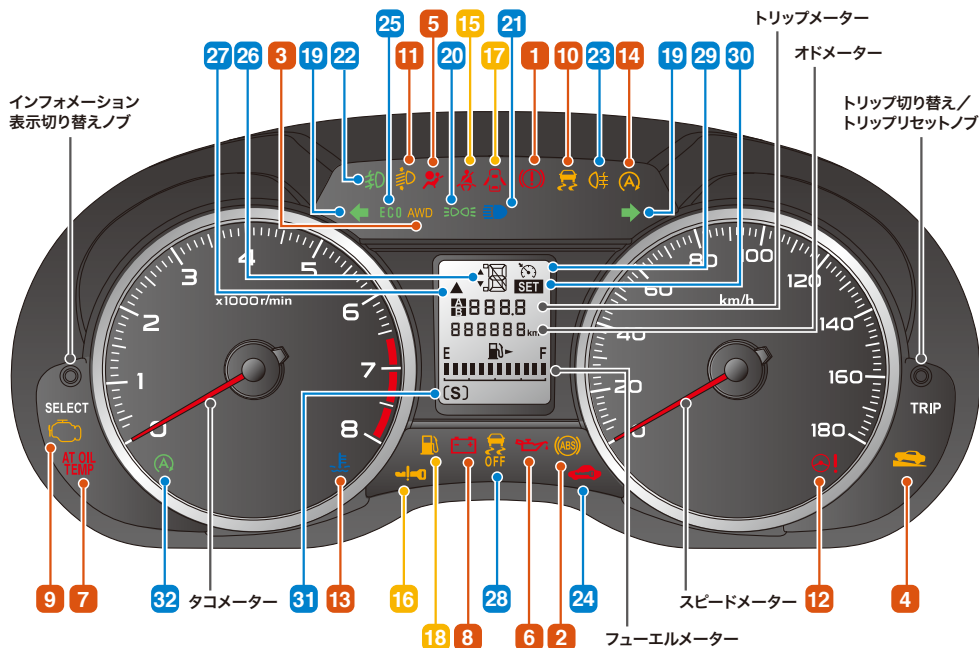
g AUTOスイッチ
フルオートで使うときに押します。

h デフロスタースイッチ
フロントガラス、サイドガラスの曇りや霜を取ります。

i OFFスイッチ
エアコンを OFFします。

j DUALスイッチ
運転席側と助手席側の温度を別々に設定できます。

★一部グレードのみに装着されている機能・装備ついては マークがついています。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

5 メーター•表示灯•警告灯

インフォメーション表示切り替えノブ
トリップメーター
オドメーター
トリップ切り替え／トリップリセットノブ
タコメーター
スピードメーター
フューエルメーター

※エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

1 ブレーキ警告灯

駐車ブレーキが完全に解除されていないとき、ブレーキ液が著しく不足しているとき、EBD の電子制御システム異常時(ABS 警告灯も同時に点灯)に点灯。

2 ABS警告灯

アンチロックブレーキシステム（ABS）異常時に点灯。

3 AWD警告灯

異なる径や空気圧の著しく低下したタイヤで走行したとき点滅。

4 ヒルスタートアシスト警告灯／ヒルスタートアシストOFF表示灯

警告灯：ヒルスタートアシストの制御システムに異常があると点灯
表示灯：ヒルスタートアシストの機能を解除したとき点灯

5 SRSエアバッグ警告灯

エアバッグシステム、シートベルトプリテンショナーに異常があるとき点灯。

6 オイルプレッシャー警告灯

エンジンオイルの圧力に異常があるとき点灯。

7 AT油温警告灯

CVTフルードの温度が高くなると点灯。異常時に点滅。

8 チャージ警告灯

充電系統に異常があるとき点灯。

9 エンジン警告灯

エンジン電子制御システム異常時点灯。触媒を損傷する可能性があるとき点滅。

10 VDC警告灯／VDC作動表示灯

警告灯：VDC 電子制御システム異常時に点灯。
表示灯：TCS/VDC 作動時は点滅。

11 オートヘッドランプレベラー警告灯

オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）のシステム異常時に点灯。

12 ステアリング制御警告灯

パワーステアリングの電子制御システムに異常があるとき点灯。

13 水温警告灯／水温表示灯

警告灯（赤色）：オーバーヒート手前で点滅、オーバーヒートで点灯。電気系統の異常時は赤／青交互に点灯。
表示灯（青色）：水温が低いとき点灯。適温時消灯。

14 アイドリングストップ警告灯／アイドリングストップOFF表示灯

警告灯：アイドリングストップシステム異常時に点滅。
表示灯：アイドリングストップ OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯。

15 シートベルト警告灯

運転席シートベルト未着用時点灯。そのまま走行すると点滅&ブザー。

16 キー無し警告灯

車内にアクセスキーが無い場合に点滅。

17 半ドア警告灯

ドアが完全に閉じていないときに点灯。

18 燃料残量警告灯

燃料残量が約 9L 以下になると点灯。

19 方向指示器表示灯

方向指示器の点滅を表示。電球切れ、ワット数の異なる電球使用時に点滅速度が早くなる。

20 ライティングスイッチ表示灯

ライティングスイッチが ●または ≡D位置のとき点灯。AUTO では周囲が暗くなると点灯。

21 ハイビーム／パッシング表示灯

ヘッドランプが上向きのとき点灯。
パッシング時も点灯。

22 フロントフォグランプ表示灯

フロントフォグランプが点灯しているとき点灯。

23 リヤフォグランプ表示灯

リヤフォグランプが点灯しているとき点灯。

24 セキュリティ表示灯

盗難防止機能がはたらいているとき点灯／点滅。詳しくは取扱説明書を参照。

25 Info-ECO（インフォ・エコ）表示灯

ECO

燃費の良い走行状態のとき点灯します。

26 シフトポジション表示灯／セレクトインジケーター

選択しているギヤ位置、セレクトレバー位置を表示。マニュアルモード選択時は変速タイミングを▲▼で表示。

27 シフトアップ表示灯

燃費効率の良い運転ができるように、シフトアップのタイミングを点滅してお知らせ。（マニュアル車のみ）

28 VDC OFF表示灯

VDC OFF スイッチを押して VDC を作動停止にしたとき点灯。

29 クルーズコントロール表示灯

クルーズコントロールが ON のとき点灯。

30 クルーズコントロール車速セット表示灯

SET

クルーズコントロールで任意の車速をセットしたときに点灯。

31 [S]モード表示灯

[S]

[S] モードスイッチを押すと点灯。

32 アイドリングストップ表示灯

アイドリングストップ可能なとき、またはアイドリングストップ中に点灯。

1〜14	異常時に点灯／点滅。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご相談ください。
15〜18	取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。
19〜32	各装置の状態を示します。

6 日常点検／困ったときは

★点検箇所は搭載エンジンによって異なります。
詳しくはメンテナンスノート、取扱説明書をご覧ください。

日常点検

日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。
安全に走行するために大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

点検方法はメンテナンスノート４章をお読みください

エンジンルーム内

下記の項目の内容量を点検してください。

車のまわり

●タイヤの空気圧 / き裂、損傷、異常摩耗がないか / 溝の深さを点検します。

4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
4輪とも同じタイヤを使用しないと、駆動システムを損傷したり、最悪の場合火災に至る可能性があります。

●各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。レンズの汚れ、損傷も点検します。

走行して

●ブレーキのきき具合を点検します。
●エンジンの低速および加速状態を点検します。
●運行において異常が認められた箇所を点検します。

運転席に座って

●エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
●ブレーキペダルの踏みしろを点検します。
●ウインドゥウォッシャーの噴射状態を点検します。
●ワイパーの払拭状態の点検をします。

困ったときは

取扱説明書の**「困ったときの Q&A」**を参照してください。取扱説明書に記載がある方法で対処しても作動しない、改善しないときは、スバル販売店にご連絡ください。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUコール **0120-052215**

受付時間　【平日】　9:00～17:00
　　　　　【土日祝】9:00～12:00、13:00～17:00
※平日の12:00～13:00および土日祝は（1）のインフォメーションサービスのみとなります。

SUBARUお客様センター
富士重工業株式会社
〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2（スバルビル）

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。
（1）ご意見／ご感想／ご案内（カタログ、販売店、転居お手続 他）
（2）お問合わせ／ご相談

お問い合わせ先スバル販売店

●スバル最新情報をインターネットで。 www.subaru.jp

Publication No. F1140JJ-A
発行 2012年9月　Printed in Japan NB
富士重工業株式会社 スバルカスタマーセンター